

あなたとJAをおすぶ情報誌

なかしべつ

1999
3月
No.291



現行価格の維持を！

根室管内酪農民要請集会

根室地区酪農対策協議会と根室の酪農を守る会が主催する、根室管内酪農民要請集会が二月二十八日に、トーヨーグランドホテルで管内の酪農民・酪農関係者、五百人以上を集めて開催されました。

開会にあたって、地区酪対の丹羽忠文会長があいさつに立ち「政府は乳価不足払い





要請する三友組長



鈴木宗男官房副長官



要請する土井上委員長

制度の見直しを検討しているが、今こそ安心して経営できる環境づくりや後継者が夢や希望、誇りがもてる体制づくりが必要であり、要請運動の中で政府に強く要求する」と呼びかけました。

また、地区酪対副会長の三友盛行副会長は、地元選出の衆議院議員に「構造変化や国際化に安心できる態勢づくりなどが急務である」と訴え、管内の酪農家を代表してJA中標津の土井上信一さんから三氏も「個体販売が大暴落し、農家は乳価に頼るしかない」、乳価は最低限現行価格を維持してほしい、「下足払い制度は機能と役割の維持が必要だ。また、高い利子の軽減や借り換え制度の充実を」と要請しました。

これに対して、鈴木宗男官房副長官、北村直人代議士、鰐淵俊之代議士は、「今回の酪農民の生の声を重く受け止め、乳価を決定したい」と述べました。

最後に「根室管内の酪農を守れ！」とシユプレヒコールで要請集会を終えました。



第二十四回なかしべつ冬まつりが
二月十三、十四日の二日間、町総合文化会館横の
しるべつと広場で開催されました。

アニメ雪像や、 イベントに人気が集中。

当日は、天候に恵まれ会場には約三十基の雪像が並び、見物客や子供たちの人気を集めました。
初日の十三日は午後六時から開会式に続き、雪像の引渡し式、もちまきなどが行なわれ午後八時から花火大会が始まり、夜空を鮮やかに飾りました。
十四日の本祭りは、耐寒ラジオ体操を皮切りに雪上パークゴルフ大会、ストラックアウト大会など盛りだくさんのイベントが行なわれました。
また、会場にはたくさんのお店の出店が立ち並び、農協青年部もホットミルク、ホットココア、ジャンボ牛串など販売し完売する盛況振りでした。



職員組合の雪像「うさぎ」がコンテストで3位に入りました



乳製品のPRを実施



人気の愛犬ぼんぼ



消費拡大委員会による出店



過去最高の30台が参加

第11回
自作ソリ大会



第十一回開陽台自作ソリ大会が二月二十一日、開陽台育成牧場特設会場で開催されました。

今大会は雪不足でいつもの西斜面が使えず、東斜面での開催となりましたが、天候に恵まれ町内外から昨年を上回る過去最多の三十台が参加し、全長三百メートルのコースをスピード・デザインなど競い合いました。中には勢い余って転倒する場面も見られ、観客から笑い声と声援が送られていました。

乳用牛の機能的体型について

機能的体型の定義には、乳用牛の機能に影響を与える全ての体型形質が含まれます。機能性にかかわる形質には乳房、尻の構造、そして肢蹄と関連するものを含んでいます。これらの三つの部位は生産能力、繁殖性、そして移動性を象徴するものな

てきています。乳房が深くなければならぬほど、産乳能力水準はより高くなっています。不幸にも、より深い乳房は怪我をしやすく、乳房炎になり易くなります。また、ある調査では、より長い牛群内寿命と、浅い乳房とが関連していることを示しています。このことは、種雄牛選抜を中間的な、程々の深さの乳房に重点を置くべきであることを暗示しており、すなわ

それぞれ別の牛群にあつた改良を形質により遺伝率が違います。

ので、乳用牛の管理において最も影響を与えるものとなっています。今回は、特に乳房の各形質について、なぜ重要なのか、さらに牛群内寿命（長寿性、連産性）、能力を改良するために牧場での管理を通じて、成されなければならぬことは何か簡単に説明します。

乳房の深さ

今日の乳用牛は遺伝的に選抜され、より多くの乳を生産するよう管理されていますので、乳房の自然な傾向として、より大きく、より深くなっ

ち怪我にならない程度に深く、そして乳房容積を制限しない程度に浅くということとです。乳房の深さについての遺伝率は割と高いので、この形質を選抜項目にすれば、十分な改良が期待できるでしょう。

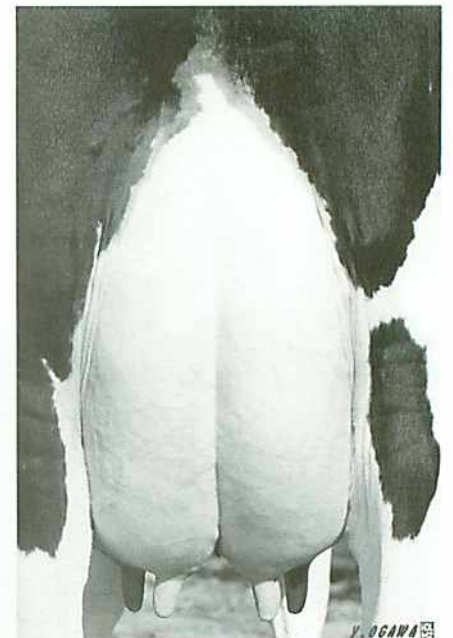
後乳房の高さと幅

乳房をより深くすることにより、乳房容積を増やすということは望ましいことではありませんから、乳房を浅くして産乳能力を上げるためには、より高く、より幅広く付着する後乳房を選択することは、理想的な

ように思えます。普通の乳房では乳の約六〇割は後乳房で生産されます。後乳房の高さと幅の遺伝率は、選抜により改良を進めるのに十分高い値です。

乳房の間溝

乳房の間溝が深いということは、中央けん垂靱帯が強いということとで、最も重要なものとして広く認識されています。前乳頭の配置や乳房の深さのような他の形質は、中央けん垂靱帯の強さと密接に関係していま



122 デンバーブ H3292



す。中央けん垂靱帯は二枚の強力な弾力のある組織から成り、乳房の中央のイ度真上の体壁に付着し、乳房の保持のための重要な働きをしています。しかし、乳房の間溝(けん垂)の遺伝率は低く、この形質に選抜圧

ザ チョイス オブ マーク アダム ET
H-3292 (デンバーブ ホップ セス ET)
父チョイス オブ レイクハースト



力をかけても良い反応は得にくいですが、乳房のけん垂は牛群内寿命との関係はきわめて高いです。

前乳頭の配置

前乳頭の下に配置された前乳頭は管上、明らかな利点をもたらしてくれます。より早く、より完全な排乳は前乳頭の正しい配置と関係していると思われま。前乳頭の配置が広く、外付のものは分娩直後の搾乳で特に大きな問題となります。排乳が

不完全に行なわれると、乳房炎や乳房の感染症に対して感受性を高めることとなります。前乳頭の配置は中程度の遺伝率であり、牛群内寿命と

乳房形質の遺伝率

形質	遺伝率
乳房の深さ	0.23
後乳房の高さ	0.14
後乳房の幅	0.20
乳房のけん垂	0.10
前乳房の付着	0.12
乳頭の配置	0.22
乳頭の長さ	0.52

数字が大きければ大きいほど遺伝は高い

体型形質と生産寿命との遺伝相関

形質	相関係数
乳房の深さ	0.62
後乳房の高さ	0.40
後乳房の幅	0.35
乳房のけん垂	0.39
前乳房の付着	0.54
乳頭の配置	0.33
高さ	0.08
強さ	-0.09
深さ	-0.06
乳用性	0.32
尻の角度	-0.04
寛の幅	-0.02
後肢の側望	-0.05
蹄の角度	0.17
決定得点	0.49

適度な相関があります。これらの事を少し気にしながら授精を行ない、牛群にあった改良を進めていきましょう。



桜井会長のあいさつ

新たなる改良 そして経済を求めて。

第28回 中標津乳牛改良同志会総会

平成十一年度中標津乳牛改良同志会（会長・桜井幸一）定期総会が、去る二月五日に中標津町農協大会議室を会場に、俵橋地区の金子安一氏を議長に選出し、開催されました。

議事に先だち、平成十年度最後の事業でもあり、また、会員の一年間の改良の成果として同志会表彰を行いました。今年同志会として初めて特別表彰を、俵橋地区・福嶋信一、美恵子氏のハッピーランド、バリアン マット マリー号を表彰いたしました。議事では事業報告、事業計画及び規約改正などが全会一致で承認されました。



表彰を受ける福嶋氏



武佐支部での懇談会

農協理事者との懇談会を終えて。

中標津町農協青年部
部長 板橋 匠



俣落支部での懇談会

去る二月二日、農協理事者と青年部員による懇談会が行なわれま
した。各支部二人から三人の理事の方々を招き、農協運営について
の意見、疑問など、卒直にお話しを伺おうという主旨です。テーマ
は「二十一世紀に向けて」と題し、夜遅くまで広範囲な話し合いと
なりました。

まず、農業情勢についてですが、
保証乳価、不足払い制度など国のこ
れからの農業対策の動向を、理事者
それぞれの予測と見解をおりませ
がらの説明と、部員による質問が繰
り返されました。また、根室酪農と

しての特色、草地型の粗飼料を十分
に確保したスタイルを基本とする事
が重要であるとの事。また、根室管
内一体となり、高品質な根室ブラン
ドを定着させる事。数年後には、生
産者とメーカーとの直販取引となる

可能性があり、今から我々もそのた
めの準備をしてゆかねばならないだ
ろうという話しも出ました。
環境整備については、地域全体で
取りかかり、意識を高めてゆき、農
場看板や、各環境事業など農協に希
望してほしいとの事です。昨年、我
々青年部で行なった環境整備事業は、
高い評価を得ているようでした。
農協運営については、昨年オーブ
ンした「あるる」も好調のようで、
予定売り上げを二十五億円に修正し
たとの事です。部員の中から、意見

として駐車場が広くて便利なのはよ
いが、場内を車で交差する時や、歩
行者が側を歩いている時など、危険
を感じる事があるとの事です。旧店
舗の活用については、解体して駐車
場にする、資材修理班の製作場に、
建物として解体するのは惜しいので、
改造してイベント会場（朝市、フリ
ーマーケット）に使用できないかな
どの意見が出されました。

その他、ヘルパー体制の見直しや、
ミルクロード製品の見直しについて
などが話題に出て来りました。
青年部活動についても、各理事さ

ん方、経験者もおられ、昔は組織と
いう事を意識し、理解していたとの
事です。時代の流れと共に、一人ひ
とりの生活習慣や、意識の個人差も
あるとは思いますが、仲間づくりの
組織として、また、社会的な事を学
んでほしいとの事です。

「二十一世紀に向けて」という大き
なテーマのもと、各支部とも広く深
い話し合いがされたようです。また、
深く懇談を進めてる内に、一農業経
営者としての人生感など、貴重なお
話しを聞く事もでき、意義深い懇談
会だったと思います。

最後にお忙しい中、夜遅くまで出
席いただいた理事の皆様方に、あら
ためてお礼を申し上げますと思いま
す。

農業発展につながる 強力な運動展開が必要。

日の出がいつの間にか早くなり、牛舎に行き易くなりました。

陽差しも強まり、朝の目覚めも、太陽と連動して早くなり、人間もまた動物の一種なのかと改めて感じ入っています。

テレビでは今年の桜前線の開花予想が映されていました。

最北点は新潟県までで、まだまだ東北はおろか、北海道ははるか遠く全くの圏外で対象外という印象でした。府県の春の訪れを見、聞きする度に、当地の春の遅さを実感してしまいます。

台風テレビ放送も、来襲前は天地がひっくり返る様な大さわぎですが、通過してしまえば全て終りという感じで、後に通過が予想される東北、北海道は全く無視されています。何から何まで東京が中心で動いている国です。

東京中心の国が新しい農業基本法を制定します。

国全体で農業を支え、守るという新時代に相応しい法律に期待と不安をどうしてもいだいてしまいます。

新農基法の中に、北海道の様な専業農家を重視する姿勢があいまいで

今月のたより

組合長日誌

代表理事組合長
みとも もりゆき
三友 盛行

者などによる農業経営の展開」を新設しました。市場原理、実勢価格の導入によって一番の影響を受ける、専業農家への対策の文言が不十分ながら入りました。

何故専業農家という文言が入っていないのかという理由が、誠にふっています。

府県でいうところの専業農家とは老齢化して兼業では働けない農民が退職後、年金プラス農業専業で経営を行なっている者です。

その数は全国で八十万戸を超えており、その様な専業農家対策は新農基法では対応出来ないというわけです。なる程と変に感心はしますが、到底理解出来ません。一方、府県から見れば北海道の様な農業だけで生計を立てている専業農家は理解出来ないのでしょうか。小さな国でありながら、この理解、実態の格差は何故なのでしょう。

同じ酪農でありながら、お互いに理解できずに、またぞろ、南北問題が浮上している不思議さに、改めて変に理解してしまいます。

南北酪農がお互いに棲み分けして適当な移出、出荷、販売をすれば、今より高い乳価水準が確保出来るのに誠に残念です。

新酪農、乳業大綱が決まりました。中心課題は、市場実勢を反映した適正な価格形成の実現及び酪農経営の安定確保です。

実勢価格の実現のため、不足払い法を平成十二年で廃止すると共に、基準取引価格、安定指標の設定を止めます。一方、生産者には、再生産の出来る経営安定措置を行ないます。

○加工原料乳の数量に応じ、一定の限度数量の範囲内での直接支払い。

○新たな措置の単価は毎年度設定。

○単価設定に当たっては各状況を考慮し、算定方式は関係者からなる検討の場において検討する。

○なお併せて加工原料乳の価格の過度の変動の影響を緩和するための、生産者の自主的な取組みを前提とした措置について、その必要性を含め検討することになっていきます。

不足払い法は廃止するが、その機能は維持することになりました。また市場実勢により、乳業と指定団体による当事者間取引による価格変動に対する対策も、不十分ながら文言が入っています。

新農基法、新酪乳対策大綱も具体化されています。一応の将来にわたる方向性は理解できますが、文言化された諸対策が農業発展につながる様に具体化される様、今後引き続き強力に運動展開をする必要があります。農民はもとより国民全体の課題として、一人ひとりより多くの関心を持ってゆきたいものです。

あり、明文化を求めてきました。ようやく、北海道の強い要望を受けて、要綱の中に「専ら農業を営む

営農技術

すぐわかる計画達成度

北根室地区農業改良普及センター

（営農計画樹立から、年度途中経営動向をモニターしましょう）

酪農経営は、季節性のある圃場作業としての粗飼料生産部門と、周年的な飼養管理部門とに分かれます。

周年的に発生する飼養部門に関する乳代や購入飼料費、養畜衛生費などは、一年間の成果を検討する事も大切ですが、年度途中の動向、推移を検討し、軌道修正する事も大切です。

そこで、特に年度途中でも月別の組勘実績から、実施したい点を項目毎に整理します。

乳代の毎月の累計値に注意
進捗率で見る

今年の生乳販売目標 一千万円
今月までの販売累計実績 七百万円
進捗率 七〇割

そして、残りの期間や今後の生産動向から、一年の成果を予測
上回りそうな場合には、生産枠があれば考慮しますが、現状の生産ペースを維持します。

下回りそうであれば、選択可能な増産、増収対策がないか検討していきます。

各費用の毎月の累計値に注意
進捗率でみる

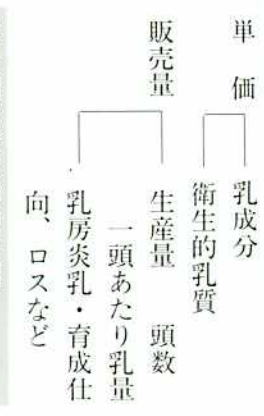
今年の購入飼料費目標 五百万円
今月までの費用累計 四百万円
進捗率 八〇割

そして、残り期間の必要量から、一年の総額を見込む

上回りそうな場合は、単価購入費を確認し、生乳生産動向から必要量を検討します。

下回りそうな場合は、生産生乳量が順調か確認します。乳牛の健康、繁殖なども検討しておきましょう。

乳代（売上高）の変動要因



購入飼料費変動の要因



期間中での検討には、金額はもちろん、数量の累計値や平均単価などを求めて、経過期間と残り期間の割合を基本に、年間成績を予測することになります。

また、年間成績でも同じですが、特に年度途中では、具体的な作業に反映しやすい数値に置き換えると、より分かり易くなる場合があります。年間の購入飼料費が多いといつて

も、具体的によく分かりません。それで、一日当たり、一頭当たり、生乳一酪当たりなどに置き換えてみると、より具体的になり、作業の変更など、行動に移しやすくなります。

経営数字を読みやすくする
◎月別に数字の推移をみる
◎前年比などの比率、割合に置き換える

◎百分比にする（売上高を百とした各費用の割合など）
◎構成比にする（費用計を百とした各費用の割合など）

◎単位当たりとする（一酪、一頭、生乳一酪当たり収益、資産、負債、資本など）

発展性を見る
経営外部の条件に対応して、経営も絶えず上向きに発展、継続させたものです。

このため現在は、上昇傾向か、下降傾向か時系列（年別、月別など）に比較してみましよう。

この比較すべき期間は、日、週、旬、月、年など目的に応じた使い分けが大切です。そして、最も大切なものは、その変動要因を見つけておくことです。

$$\text{売上(費用)増加率} = \frac{\text{当期売上(費用)高} - \text{前期売上(費用)高}}{\text{前期売上(費用)高}} \times 100$$

わが家の 人気者



俵中地区 大山耕治・紀子さんご夫妻 次女 智沙登ちゃん(3歳)

今回ご紹介するのは、俵中地区の大山耕治さん宅の智沙登ちゃん。三人兄弟の真ん中、元気いっぱいの子です。

幼稚園から帰ったばかりのお姉ちゃん香保梨ちゃんと、なかよく遊んでいました。最初はちよっぴり照れくさそうだったけど、ニッコリ笑った智沙登ちゃんは、ほっぺに「えくぼ」ができてとってもかわいい。智沙登ちゃんは、お姉ちゃんと弟

の混太くんが大好き。なわとびあそびやかくれんぼをして、一緒にあそんでいます。数も一〜五十まで数えられる、お利口さん。お父さんの耕治さんも「お風呂から上がる時十まで数えようって言ったたら、五十まで数えて、のほせそうだったよ」と笑って話す。

「結構、おてんばで活発な子ね」と話すお母さんの紀子さん。そんな元氣印の智沙登ちゃんですが、帰り際にちよっちな声で「いいものを見せてあげる」と、隣の部屋へ行くと七段飾りのおひなさまを見せてくれました。「きれいでしょ」とニッコリ笑う。女の子らしい智沙登ちゃん。健康やかに明るく、大きくなってね。

なかよし兄弟の元気っ子。

女性組織の発展に 多大な貢献。

北海道
産業貢献賞

横田 純子さん



平成10年度 北海道産業貢献賞(農業関係功労者)表彰式



平成10年度北海道産業貢献賞表彰式が二月十日、京王プラザホテル札幌で行なわれ、JA中標津・横田純子さんが表彰されました。同賞は北海道知事より、農業関係のそれぞれの分野で永年にわたり献身的な努力を重ねると共に、卓越した識見と指導力をもって、本道農業の発展に貢献された方に贈られるものです。

北海道産業貢献賞農業・農村振興功労者

昭和三十七年に就農以来、農協女性部の活動に力を注ぎ、特に女性農業者の地位向上や農産加工の取組みなどにおいて、中心的な役割を果たすとともに、北海道指導農業士として、生活環境の改善とゆとりある農村生活の実現に向けた指導や、担い手の育成に尽力するなど、農業・農村の活性化に多大の貢献をされました。

来年に向けて活発な意見。

●女性部役員反省会

二月二十六日、トイヨーグランドホテルにおいて、平成十年度役員、



支部長反省会が行なわれました。当日は、十四人と少人数でしたが、今年度行なわれた、三層の事業について話し合われました。

この一年間、支部内の連絡やイベントなどに協力してくれた支部長の皆さんから、「支部長を通して女性部の活動がよくわかった」、「たくさんの部員が参加してくれようれしい」など多くの意見を聞くことができ、来年度はこんな事をしたいなど活発な意見も出ました。慰労を兼ねたなごやかな雰囲気の中で、一年間を楽しく振り返りました。

新品種の紹介と施肥管理の大切さ。

●馬鈴しょ栽培技術講習会

馬鈴しょ栽培講習会が平成十一年二月十日、J A 中標津大会議室において、中標津町農協馬鈴しょ振興対策協議会主催で二十七人の出席により開催されました。

安達会長の挨拶の後、講習会に入り、北根室地区農業改良普及センターの富沢普及員から「畑作農業研究センター試験成績結果」、「粉状そうか病の防除対策(事例紹介)」について、そうか病抵抗性に強くジャガ

イモシストセンチュウ抵抗性を持った新品種「根育引号」の紹介と合わせ、五試験の説明が行なわれました。

引き続き、鈴木調整主査から「診断結果から見た畑作土壌の特性と施肥改善対策」、「土壌改良資材(石灰・燐酸など)の特徴と使用方法」について、中標津の土壌特性を例記しながら施肥の考え方と注意点について講演があり、土壌の特性を知り、石灰の作条施用による馬鈴しょの増収



小学四年生から高校生までのみなさん、中標津ジュニアホルスタインクラブの会員になりませんか。会員になると楽しいことや、ためになることが、いっぱいあります。共進会の見学はもちろん、家族で参加できるボーリング大会やいも植え体験、収穫祭、陶芸教室やサマーキャンプなど、いろいろな体験ができたり、たくさんの方々ができちゃったりします。他にもたくさん勉強になることがあります。詳しくは、各地区の運営委員までお問い合わせ下さい。

●広瀬清寿 ☎(3)7025 ●舟橋信一 ☎(4)2368 ●金子安一 ☎(3)3865 ●佐藤範憲 ☎(2)9673 ●保科隆 ☎(3)7036 ●斉藤一美 ☎(4)2119 ●奥田建雄 ☎(2)9757



を図って欲しいと、施肥管理の大切さを強調し、講演を終了しました。

最後に生産者個々の土壌診断結果を配布し、施肥設計希望者には、設計を普及センターで行なう事を伝え、有意義な時を過ごし講習会を終了しました。



新たな農基法を弾みに

3つの共生 次世代 消費者 アジア が創る21世紀

誠意で深まる信頼

農産物の生育は、天候に左右されやすく、豊作や不作が農家はか
りか消費者にも大きな影響をもた
らします。1998年秋の異常気
象は、キャベツなどの野菜を直撃、
例年より驚くほどの価格となった
ため、スーパーや農水省が海外か
ら緊急輸入したほどでした。

農産物を安定提供

こうしたなかで、さらに信頼を
深めたのがJAグループのファ
ーマーズマーケット（JA農産物直
売所）です。

「朝市」「青空市」「ふれあい市」
など地域での呼び方はさまざまで
すが、「新鮮な農産物を安価で提
供しよう」という精神は変わりま
せん。地域の人たちと長くお付き
合いしようというものですから、
價格的にもさほど変わらずに野菜
を提供しました。

豊作では価格が安くなり農家が
泣き、不作では価格が上がって消
費者が泣くといった現象をファ
ーマーズマーケットが緩和するとい
う役割をはたし、いわば地域で「共
生」しているのです。

「ふるさと」づくりへ

日本の人口は都市に集中してい
ますが、それだけに、「ふるさと」
を持たない人が増えていることに
なります。「土に親しみたい」「自
然に触れたい」という人たちのた
めに、JAグループでは、市民農
園や農家民宿、グリーン・ツーリ
ズムなど農業・農村体験に取り組
んでいます。

JA全中が
行った調査で
は、JAが取
り組んでいる
パターンは、
田植えや稲刈
り、収穫体験
などのイベン
ト型、市民農
園などの契約
型、季節の作
物を収穫する
観光農園型、
民宿などに滞
在して余暇を
楽しむグリー
ン・ツーリス

ム
の四つがあります。

グリーン・ツーリズムに取り組
むJAでは、そば打ちやわら細工
など通年体験できるものとその時
期にしか体験できないものを組み
合わせて、いつ農村を訪れても農
業体験ができるようにしていま
す。こうした中から、同じ所に何
度も訪れ、交流を深め、自分の「ふ
るさと」が生まれて来るでしょう。



食の元気は、日本の元気 未来に続く大地の恵み

『耕せニッポン』JAグループ

資源ゴミをリサイクル しましょう

北根室地区農業改良普及センター

暮らしの 知恵袋

身近な資源ゴミのリサイクルに、新聞紙などの古紙回収があります。

昨年、JA標津女性部でゴミ処理調査を行なった結果、五割の人は紙類ゴミを分別し回収業者などに出していますが、四割の人はリサイクルせずに燃やしていることが分かりました。

限りある資源を有効に活用し、環境にやさしい社会を築くために、古紙回収の現状と正しい分別方法を紹介します。

●回収から再生までの流れ

①古紙の種類ごとに分別
各家庭から回収された資源ゴミは処理場に運ばれ、新聞紙、雑誌、段ボールに分けられます。

②古紙の細継と異物の取り除き
専用の機械で縛ってあるヒモや袋と新聞紙を一緒にバラバラにした後、ヒモやビニール袋などを手作業で取り除き、燃えるゴミとして分別します。

同じように新聞に混入していた雑誌や紙袋も手作業で分別し、再利用します。

作業場には細かいパルプ繊維が舞っていて、防塵マスクが必要なほど大変な環境で、分別作業が行なわれています。

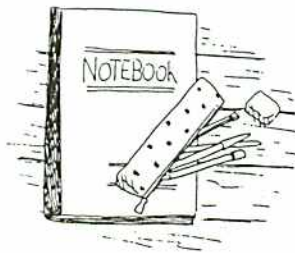
③パルプのプレス

細継した古紙をプレスして針金で縛り、縦二層×横一・二層×高さ一・二層、重さ一・五トンの塊にします。

これが再生品の原料で、製紙工場へ運ばれます。

●どんな古紙から何ができるの？
回収された古紙は、いろいろな製品に再生されます。

古紙の種類	再生できる製品
新聞紙、広告チラシ	新聞紙、週刊誌、OA用紙など
雑誌、本、菓子などの空き箱	菓子箱、絵本、洗剤の箱、アルバムなど
段ボール	段ボール箱、紙筒など



●回収に出すときの注意点

紙なら何でも再生できると思いき、ティッシュの箱や菓子箱などを新聞紙の間にはさんでいませんか？
菓子箱、空き箱、封筒、紙袋などは、雑誌と一緒に分別します。

段ボールは宅急便の送り状、ガムテープ、ビニールテープをはがした方がよいでしょう。

紙コップなど防水加工をした紙やワープロの感熱紙、カーボン紙、写真などは、同じ紙でも再生できないので混ぜないで下さい。

当たり前のことですが、金属クリップや布類、金物、プラスチックなどは再生の障害になる禁忌品です。混入していないか十分に注意しましょう。

●環境にやさしい再生品を使いましょう

再生品を選択する条件を考えてみました。環境問題に積極的に取り組んでいる企業、メーカーを応援してあげたいものです。

再生品	購入基準
トイレットペーパー	牛乳パックなどの古紙100%使用 漂白剤は使用していないもの 無蛍光染料包装のもの
ティッシュペーパー	古紙100%使用 漂白剤は使用していないもの 無蛍光染料包装のもの
ノート、封筒、便箋など	古紙70%以上使用 漂白剤は使用していないもの 無蛍光染料包装のもの



楽しく行なわれた健康管理研修



熱戦が繰り広げられたゲートボール大会

踊りや歌に日頃の練習をかさねた成果を披露。

★ 熟年会冬期研修会



息の合った踊りに会場から拍手



たくさんの方が参加したハッピーボウリング

中標津町農協熟年会冬期研修旅行が、二月八日～十日までの二泊三日の日程で斜里町ウトロ・知床グランドホテルで開催されました。

熟年会では春・秋・冬と年三回の旅行を中心に研修を開催していますが、特に冬期研修会は参加者が多く、今回は百人の会員が参加しました。

初日は、町保健センターの石原講師による健康管理の研修がゲームなどを交え楽しく行なわれ、翌日にはゲートボール大会・ハッピーボウリング・カラオケ・映画鑑賞など趣向を凝らしたゲームを皆さん楽しみました。

また、夜には芸能発表が行なわれ、各支部から素晴らしい踊りや歌などが披露され、時間を忘れるほど盛況な研修旅行となりました。

第十一回理事会の経過

開催日時 平成十一年三月二日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、平成十年十二月末定例自治監査について
- 二、平成十年末予算統制計画について
- 三、平成十一年度収支予算計画について
- 四、債務保証委託申込に伴う出資の増口について
- 五、大根選果場及び肉牛施設に係る指名入札業者について
- 六、根室生産連削蹄事業中止に伴う削蹄の委託契約について
- 七、中標津町農協乳質自主規制措置の変更について
- 八、中標津町農協乳質向上対策の改定について
- 九、家畜伝染病淘汰互助会制度について

- 十、デジタル多機能電話機の導入について
- 十一、出納テラーズマシンのリース契約について
- 十二、中核複合施設建設の協賛金について

〈協議事項〉

- 一、農産加工施設に関わる道との協議経過について
 - 二、旧店舗建物の今後について
 - 三、地区別懇談会の議題と日程について
- ## 〈報告事項〉
- 一、生乳生産状況について
 - 二、乳製品工場及び牧舎の実績について
 - 三、生乳奨励金について
 - 四、第四期生乳安定生産対策について
 - 五、新たな酪農、畜産基本政策、十一年度酪農畜産対策の道酪対要請の決定について
 - 六、給油所の状況について
 - 七、配合飼料取扱拡大推進状況について

2月の組合日誌

- 1日 定例自治監査（4日まで）
- 3日 青年部50周年編纂委員会
- 5日 中標津乳牛改良同志会定期総会
青年部消費拡大委員会
- 6日 肉牛振興会役員会
- 8日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 10日 馬鈴しょ栽培講習会
酪農実習生受入協議会総会
酪対環境整備委員会
- 15日 でん粉工場再編打ち合わせ
- 16日 青年部役員選考委員会
- 17日 税対役員会・委員会
- 18日 女性部青葉会和紙工芸教室
- 19日 女性部三役会
- 22日 第7回酪対委員会
- 24日 女性部役員選考委員会
- 25日 第8回生産委員会
青年部広報委員会
- 26日 てん菜振興会役員会
平成11年度新職員採用筆記試験
- 27日 第6回管理購買委員会

家庭
雑誌

家の光

抽選で

ピカピカ

3・4・5・6月号プレゼント企画

賞品総額1,400万円

春の愛読者プレゼント

3月号

「新品種 魅惑の野菜・花」

抽選で2000名の方にプレゼント
(ユニークな野菜の種を1200名、花の種を800名)

4月号 別冊付録

暮らしを彩る花とハーブ

「花の種」プレゼント
抽選で2000名の方に。

詳しい応募要領は「家の光」3月号、4月号別冊付録を
ごらんください。

『家の光』創刊75年記念
愛読者プレゼント

5、6月号

ステキな生活用品プレゼント

6種類の生活用品を用意しています

「家の光」5月号と6月号についている応募券を官製はがきに
糊付けして、応募ください。詳しい応募要領は「家の光」
5・6月号をごらんください。

5月号
別冊付録

やさいで元気になる本

お申込はJAへ 定価(税込) 3・6月号各600円 4・5月号各880円

あなたとJAをむすぶ情報誌

なかいべつ

1999 **3** No. 291



オホーツク海を、
白く染める冬の使者「流氷」。

●発行／中標津町農業協同組合 ●編集／経営企画課組織広報係 ☎2-3275
●デザイン・印刷／中谷デザイン